

## 宇宙的調和や癒しや神聖の概念を憎む人々

渡辺 久義

2017/05/27

先日 (5/23) 掲載の、ある FBI のインサイダーが何人かの質問に答えて、政府の内情をリークした貴重な記事で、回答者が「いい質問だ」と反応していたのが一つあった。私もこれには目を釘付けにされた。代替医療 (ホーリスティック医療) 従事者で、最近、不自然な変死体で見つかるか、行方不明になる人々が、なんと 70%に及んでいるという恐ろしい話である。日本を含めて、医薬業界全体 (Big Pharma と呼ばれる) がグローバル・エリートの黒い支配下に入っているという話は聞いていたが、そこまでやるとは信じられなかったもので、ネットを調べてみると、その関係のサイトが確かに沢山見つかった。インサイダーは、その事実は把握している、しかし調査したくとも、ゴーサインが出ないのでどうしようもないのだと洩らしていた。ここから、その背後に、影の世界政府があると断定していいだろう。

「彼ら」にとって暗殺は、ティッシュペーパーを使うようなものだと聞いたことはあるが、この場合は、特に邪魔になる人物とか、秘密を知られて生かしておけないといった人たちではない。普通の開業医であろう。ただ彼らは、唯物還元主義的な「西洋医学」の行き詰まりを打開しようとして、それに代わる「代替医療」を開発しようとしている人々であり、かなりの効果を上げていると推測できる。彼らが、西洋医学を排斥しているとは思えない。しかし西洋医学からは敵視されているらしい。(これはダーウィン進化論と ID=インテリジェント・デザイン理論の関係に似ている。)

もちろん私に専門的なことは分からないが、私は holistic medicine の元になっている哲学 holism (reductionism=還元主義の対概念) について、これまで何度も書いている。これをもう一度繰り返そう。この概念を例えば「全体論」と訳してみても、よく理解できない。これはその語源を分析することによって、的確に把握することができる。この語の語源はギリシャ語の holos であり、ここから英語の whole が出てきた。whole は「全体」だが、部分を集めた全体 (total) でなく、完全な生きた全体を意味する。この同じ holos から heal (癒す) が出てきた。make whole と言えば、「癒す」という意味になる。また health (健康) もそこから出てきた。更に wholesome と言えば、特に、道徳的に健全という意味になる。そして重要なのは、holy (神聖な) もそこから出ていることである。

そこで、このいくつかの概念を、頭の中でぎゅっと一つに統合してみたい。それ

が holistic medicine の holistic の意味である。完全な生きた全体、癒し、身体的健康、精神的（道徳的）健全、神聖——これらが一つに統合されたのが、「ホーリスティック」の概念であり、ホーリスティック医療とは、基本的に、還元主義的な部分治療でなく、宇宙全体との調和、心身の調和、他者や自然との調和の乱れから生ずる故障（病気）を、本来あるべき状態に戻す（癒す）ことだと言ってよいのではないだろうか。

こうした医療が、かりに西洋医学のように数値や物証を重んじないとしても、有効さが実証されている以上、排斥されねばならない理由はない。しかし排斥や冷遇ならまだよい。なぜ殺さなければならないのか！ しかも異常な数の人々が殺されているらしい。

この狂気の異常さは、我々が長くこのサイトで見してきた、「彼ら」のさまざまな実態から、導き出されるように思える。彼らは常識では測れない。彼らはルシファー（サタン）に仕える者たちであり、“純粹悪”に身を捧げる者たちである。ホーリスティック医療の立っている世界観は、彼らから見れば最も憎むべきもの、最も許せない、かつ最も恐ろしいものであろう。それは単なる医療行為を超えた、彼らの世界を脅かす哲学または信仰の問題である。それは飲ませる薬や、つける薬の違いではない。彼らは、愛でなく憎しみを原理として世界を導き、人々の調和も、神と人の調和も、道徳的健全も、癒しも、すべて敵対すべき概念である。例えば、彼らの指導するフェミニズムは、女性の不平等を解消するためでなく、男女を闘わせて家庭を破壊するためである。LGBT の人々に同情するように見せかけ、実はそれを政治的に利用して、不穏な、戦闘的な空気を醸成しようとする。爆弾テロも、ペドフィリアも、暗殺も、侵略や虐殺も、ウソや騙しも、すべてマルクスの言った「あの天上で支配する者に復讐する」ためであり、神の愛とか、宇宙的な調和の原理といったものに反逆し、嘲笑するためである。

彼らは、自分たちの哲学を **Order out of Chaos**（混沌からの秩序）だと説明するが、悪の限りを尽くした果てに生まれる、その“秩序”とはどんな秩序だろうか？ それは自分たち以外を奴隷化し無力化する、警察国家の秩序である。では、取り締まる主人の側のトップの少数者の間では、愛や信頼や調和が働いてうまくいくのだろうか？ それは考えられない。彼らの語彙にそのような概念がそもそもない。そこにあるのは不信と猜疑心だけで、彼らは最後の一人になるまで殺し合うだろう——代替医療家を殺し尽くすように。